

科目区分	専門科目(必修科目)		
授業名	文化論		担当講師
内容 (授業概要)	昔からある美容の歴史を現代まで勉強し今ある美容がどのようにできたのか学ぶ。	学科	美容学科
		学年クラス	1年
		設定時期	通年
		回数	40回
		時間数	1回=1時限 50分
目標	2年間の集大成となる美容師国家試験に合格をし、美容師免許を確実に取得する。		
授業計画	文化論	40h	1回 第一章 総論 第二章 日本の理容業・美容業 理容業・美容業の発生
			2回 近代の理容業・美容業
			3回 現代の理容業・美容業
			4回 総論～理容・美容業 復習・まとめ
			5回 第三章 ファッション文化史 日本編 縄文・弥生・古墳時代
			6回 古代(飛鳥・奈良・平安時代)
			7回 中世(平安末・鎌倉・室町・戦国時代)
			8回 近世Ⅰ(戦国末・安土桃山時代)
			9回 近世Ⅱ(江戸時代)
			10回 近代(明治・大正・昭和20年まで)
			11回 縄文～近代 復習・まとめ
			12回 現代Ⅰ(1945～1950年)
			13回 現代Ⅱ(1960～1970年)
			14回 現代Ⅲ(1980～1990年)
			15回 現代Ⅳ(2000年)
			16回 現代 復習・まとめ
			17回 前期期末試験
			18回 和装・洋装の礼装
			19回 総論～現代
			20回 礼装まとめ
			21回 第四章 ファッション文化史 西洋編 古代エジプト
			22回 古代ギリシャ・ローマ
			23回 古代ゲルマン
			24回 中世ヨーロッパ
			25回 古代から中世 復習・まとめ
			26回 近世Ⅰ(16世紀)
			27回 近世Ⅱ(17世紀)
			28回 近世Ⅱ(18世紀)
			29回 近代Ⅰ(18世紀～19世紀初め)
			30回 近代Ⅱ(19世紀)
			31回 近世～近代 復習・まとめ
			32回 現代Ⅰ(1910～1920年)
			33回 現代Ⅱ(1930～1940年)
			34回 現代Ⅲ(1940～1950年)
			35回 現代Ⅳ(1960年)
			36回 現代Ⅴ(1970年)
			37回 現代Ⅵ(1980年)
			38回 現代Ⅶ(1990～2010年)
			39～40回 現代 復習・まとめ

授業方法	講義形式。教科書に沿ってプリントを埋めていく。授業の最後で練習問題を解き試験慣れしていく。
評価方法	出席率10%・授業態度10%・期末試験80%で総合的成績評価とする。 考査は70点以上/100点で合格。70点未満は再試験を行う。
教員紹介	担当教員は、美容師免許取得後、サロンに従事し、厚生労働大臣認定 日本理容美容教育センター主催の教員研修 (実務経験4年以上の者が受講)で教員免許を取得。美容師としての実務経験を活かし、美容師養成に向けて授業を展開する。
教科書	文化論(日本理容美容教育センター 発行)
用具	教科書、筆記用具、ノート
履修上の 注意事項	日本国内の歴史だけではなく世界の歴史についても学ぶので、広い視野をもって授業に参加すること。

科目区分	専門科目(必修科目)					
授業名	文化論		担当講師			
内容 (授業概要)	1年次に学んだ内容を復習し国家試験合格を目指す。		学科	美容学科		
			学年クラス	2年		
			設定時期	通年		
			回数	20回		
			時間数	1回=1時限 50分		
時間数	20時間					
目標	2年間の集大成となる美容師国家試験に合格をし、美容師免許を確実に取得する。					
授業計画	文化論	20h	1~2回	第一章 総論 第二章 日本の理容業・美容業 理容業・美容業の発生 近代の理容業・美容業 現代の理容業・美容業		
			3~4回	第三章 ファッション文化史 日本編 縄文・弥生・古墳時代 古代(飛鳥・奈良・平安時代) 中世(平安末・鎌倉・室町・戦国時代)		
			5~6回	近世Ⅰ(戦国末・安土桃山時代) 近世Ⅱ(江戸時代)		
			7回	近代(明治・大正・昭和20年まで) 現代Ⅰ(1945~1950年) 現代Ⅱ(1960~1970年)		
			8回	現代Ⅲ(1980~1990年) 現代Ⅳ(2000年)		
			9回	和装・洋装の礼装 前期期末試験 総論~現代・礼装		
			10~11回	第四章 ファッション文化史 西洋編 古代エジプト 古代ギリシャ・ローマ 古代ゲルマン		
			12~13回	中世ヨーロッパ 近世Ⅰ(16世紀)		
			14~15回	近世Ⅱ(17世紀) 近世Ⅱ(18世紀)		
			16回	近代Ⅰ(18世紀~19世紀初め) 近代Ⅱ(19世紀)		
			17~18回	現代Ⅰ(1910~1920年) 現代Ⅱ(1930~1940年) 現代Ⅲ(1940~1950年)		
			19回	現代Ⅳ(1960年) 現代Ⅴ(1970年)		
			20回	現代Ⅵ(1980年) 現代Ⅶ(1990~2010年)		
			授業方法	1年間で終えたものを復習し例題やまとめたプリントを解いていく。 自分でその時代にあった年表を作成しどの時期に何が起こったのか再確認していく。		
			評価方法	出席率10%・授業態度10%・期末試験80%で総合的成績評価とする。 考査は70点以上/100点で合格。70点未満は再試験を行う。		
			教員紹介	担当教員は、美容師免許取得後、サロンに従事し、厚生労働大臣認定 日本理容美容教育センター主催の教員研修(実務経験4年以上の者が受講)で教員免許を取得。美容師としての実務経験を活かし、美容師養成に向けて授業を展開する。		
			教科書	文化論(日本理容美容教育センター 発行)		
			用具	教科書、筆記用具、ノート		
			履修上の 注意事項	日本国内の歴史だけではなく世界の歴史についても学ぶので、広い視野をもって授業に参加すること。		